

茨城NPO情報

MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

①…巻頭コラム・NPOのひとりとトピックス②・③…10号記念企画④…NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより

編集/発行

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2丁目2番23号102

☎ 029-300-4321 FAX 029-300-4320

URL <http://www.npocommons.org>

E-mail info@npocommons.org

第10号記念号

2003.08

千葉の公募型の委託事業



先日、千葉県が実施しているNPOによる事業提案の審査会に出席した。この事業はNPO立県を目指す千葉県の独自の事業で、NPOの事業提案について県が委託事業としてふさわしい事業を選ぶ公募型の委託事業だ。事業予算は総額1500万円で、ひとつの事業に100万～300万円の事業費が出る。

▶2年目の今年は20数団体から事業企画が寄せられ、書面審査で12団体に絞られ、最終選考会で、それぞれ10分間のプレゼンと質疑が行われた。最終選考は公開形式で、私を含めて計6名の選考委員が各プレゼンについて質問し、投票を重ね最終的には7団体が残った。皆が注目する中でのプレゼン、質疑、投票は緊張したが、熱心な質疑が行われたためか会場には不思議な充足感があった。

▶今回の選考は、民間の助成金の選考と違い、事業の先駆性や実現可能性だけでなく、県が行うべき事業か、1年(実質半年)間の委託後の継続発展の見通しがあるか、などが選考のポイントになった。具体性や事業の広がりがやや弱い事業や、委託事業になじまない事業は今回選ばれなかった。

▶このような事業公募や公開選考は、行政とNPOとの間で意思疎通ができ、委託の意味も明確になる。協働の質を高めるのに有意義だと感じた。茨城県も緊急雇用対策事業に関してNPOの事業提案を求めている。短期間の委託事業には制約もあるが、この機会に自らの事業提案が、行政にどう受けとめられるか試してはどうだろうか。

(文 横田 能洋)

勤労者マルチライフ支援事業
勤労者ぼらんていあ・ねっと
<http://www.volunteer.net.jp>

余暇や退職後の時間を活用して、ボランティア活動を始めませんか。コモンズは、あなたの社会貢献活動を応援しています!

「セカンドライフ」の充実を!

地域が柔らかくなるように

まちづくり市民会議 事務局長 川俣佐代子さん



石岡市のNPO法人「まちづくり市民会議」が運営し、市民活動情報と交流の場を提供する「まちかど情報センター」が開設して2年半。コミュニティの復活と市街地活性化、市民参加によるまちづくりの拠点のために出来た公設民営の施設。事務局長の川俣佐代子さん(48)にとって、まちづくりの基礎にあるものは「人」。

初めに子どもが来た



市民活動の拠点が、子どもたちの占拠状態と化す場所も珍しいかも知れない。「まちかど情報センター」は、JR石岡駅前から南に伸びる通りと国道が交差する角地にある。開設後、最初に集まってきたのは小・中・高校生だった。

児童書や郷土書、新聞のほかにも、インターネットに接続できるパソコンが数台置かれているので、1回30分ほどだが、次第に、大人に気兼ねなくインターネットをしたい子どもたちの溜まり場のような場所になった。ごく普通の子どものみならず、不登校気味の生徒や、学校を中退し、行き場のない元高校生なども来るようになった。

川俣さんはまず、子ども

たちがやって来たことを喜んだ。

「学校や家庭のほかに、居場所があるというのは子どもにとってよいこと。センターが居場所になることも、現代の子どもにとって必要なことかも」

中学生たちが、センター内でカップラーメンを食べたりするようになるとさすがに困ったし、大人がクレームをつけ、悪評が立ったこともあった。それでも、これまで子どもたちの訪問が途絶えたことはない。近所の小学生が、下校途中に立ち寄って、「ただいま」と言いながら、平然と、水を飲んでゆく様子から、子どもたちにとって、ここが気安い場所、と見て取れる。

気安い場所として

最初に子どもたちが来た、ということは、「子どもは好奇心が強いから」と言う前に、子どもたち自身が何かを嗅ぎ分けた、特別な現象だとも言えそうな、何かがある。

川俣さんは「子ども劇場」の活動に長く関わっている。「まちづくり市民会議」に参加することになったのも、「いしおか子ども劇場」の中心だったからだ。事務局の仕事も、ごく自然な形で、川俣さんにやってきた。

常駐するスタッフ、ボランティアのほとんどは、揺れ動く子どもたちの話に耳を傾け、見守ることが出来る。出入り口を覗んだりしないし、傷付いた心の子どもたちを、うるさげに追い

払ったりしない。殊更なことにはしない。が、子どもたちにはそうした大人がいると分かったのかも知れない。

人をつなぐ役目

昔のにぎわいを取り戻そうとすることが「まちづくり」の狙いなら、目に見える成果は、住民が増えたり、立派なイベントが目白押しになることだ。最近よく言われる「交流人口の拡大」もそうだろう。

センターは、ひとつの空間に、幼児から大人、高齢者まで幅広い年齢層の市民が交流、触れ合う場を提供している。

川俣さんがポスティングなどの作業を通じて、痛切に感じることは「声を掛けてもらうのを待っている人がたくさんいる」ことと、衰退するまちが変わってほしいと思う人たちの多さ。

川俣さんは、「地域がやわらかくなるように、人と人がつながれるまちかどになれるように、さまざまな出会いの場をつくり、地域の人やまちを知り、思いを共有するきっかけが大切」と考えている。

子どもを中心に考え、活動することで、人に優しいまちにできる。だからこそ、センターにやって来る子どもたちを大切にしたいと思うのだ。

(文と写真 佐竹 明)

《まちかど情報センター》
石岡市国府3の1の16
☎ 0299-27-5171
FAX 0299-27-5172

TOPICS

NPO起業科 第1期生13人が卒業

コモンズは雇用能力開発機構の委託を受け、求職者向け職業訓練事業・NPO起業科を開設した。5月から3ヶ月間行われた講座に北茨城から取手まで計13名の受講生がほぼ毎日熱心に通った。訓練内容はNPO概論や法人設立実務、NPOの現場実習、NPOのリーダーの実践談、会計やパソコン、広報誌づくり、事業の企画やプレゼン



など。県内外の視察も行った。受講生は30歳代から60歳代まで、前職も金融、エンジニア、施設職員など実に多

様なメンバー。市民活動経験者は少なかったが、いずれもNPOに今後の仕事や生き方のヒントがあるのでは、と講座に飛び込んだ。何かを得ようという受講生の意欲で狭い教室に熱気が充満。開講時に比べ、皆の表情も随分変わった。NPOの実情や可能性を十分に理解し、自分がやりたいことに向かって、これから一歩一歩進んで行く卒業生。高い意欲と実務をこなす力がほしいという方は是非卒業生に会って下さい。(文と写真 横田 能洋)

10号到達記念企画

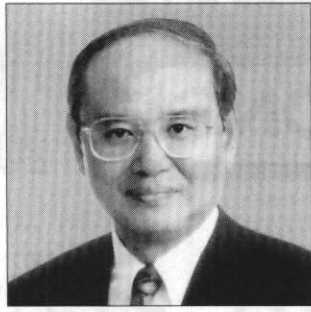
「広げてください。あなたのリンク」



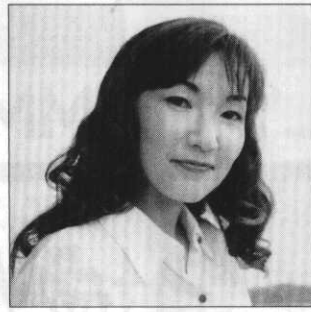
沼尻 克枝さん(つくば市)
= NPO法人日本スポーツ振興協会事務局長、茨城放送パーソナリティ
「スポーツ普及の草の根活動が認められ、テニス雑誌『テニスクラシック』に9月から連載決定！是非、ご覧ください」
Katue@d6.dion.ne.jp



森田 多美子さん(水戸市)
= NPO法人「水戸こどもの劇場」代表理事
「水戸こどもの劇場の代表です。NPOを設立して今年5周年を迎えます。新たな躍動の1年となる予感が…」
☎ 029-255-0908



本間 源基さん(ひたちなか市)
= ひたちなか市長
「今まさに、市民と行政の協働によるまちづくりの時代です。違いの分かり合える市民が地域を大きく支えます」
☎ 029-273-0111 (ひたちなか市役所秘書課)



星野 由美子さん(水戸市)
= ジャズボーカル&ピアノ
「念願だったCDを秋ごろリリースします。『時を超えて』をコンセプトに、8月はその収録の真っ只中。聞いてくださいね」



帯刀 治さん(水戸市)
= 茨城大学人文社会地域総合研究所
「7月28日付「AERA」を読んで下さい。」とらい「のことが出ています。コミ・レス」とらい「のご利用をお願いいたします」
tatewaki@mx.ibaraki.ac.jp



青木 繁政さん(下館市)
= ほっとひと息ステーション(まちの駅)
「8月1日開館の『しもだて地域交流センター』内に、人と地域の交流・連携拠点が出来、ボランティアにて運営します。ヨロシク」
savaio@aol.com



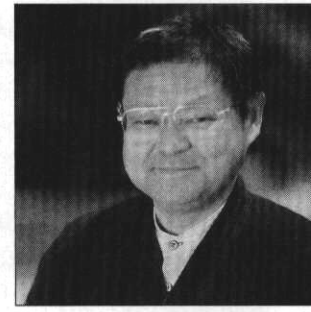
袴塚 宏美さん(水戸市)
= 水戸こどもの劇場
「鑑賞、創造活動、子育て支援等を通して、異年齢でふれあえる場がある事に感謝しつつ、日々活動しています」
☎ 029-255-0908



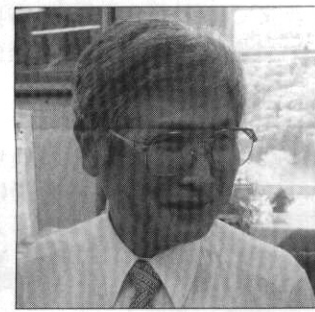
小川 啓子さん(水戸市)
= 水戸コミュニティ放送(株) <FMばるるん>放送局長
「身近で生きた情報の発信基地『FMばるるん』。地元のボランティアと共に毎日楽しく放送中！是非聞いてね」
fm762@fmpalulun.co.jp



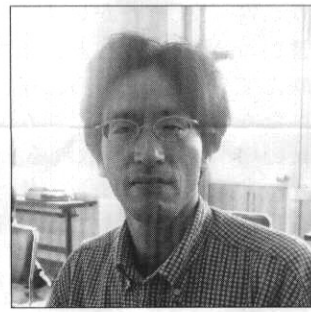
井坂 真希子さん(ひたちなか市)
= CVC(常磐大学コミュニティ・ボランティア・サークル)
「地域に活動を根付かせることができるように、地域の皆さんと共に歩んでいきたいと思っております」
elomaotic@ezweb.ne.jp
http://ip.tosp.co.jp/i.asp



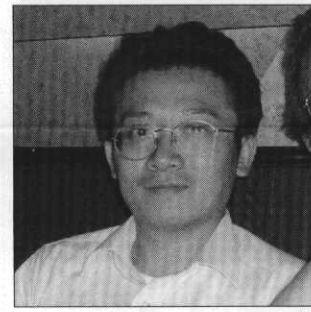
大金 総一郎さん(水戸市)
= NPO法人和唄代表理事
「地域通貨(リング)とオーガニックマーケットを通して、『生きていて良かった!!』と喜びを分かち合います」
☎ 029-221-2630
yosimiya@violin.ocn.ne.jp



菅谷 茂佐久さん(神栖町)
= NPO法人ゼロワンの郷代表理事
「たった一度の人生だから、悔いの無い人生を送りたい。次の世代のお荷物にならないように」
☎ 0299-96-8019



関口 晃弘さん(東海村)
= パソポラ茨城事務局長
「パソポラ茨城は障害者のパソコン利用を支援しています。パソコンの楽しみをすべての人に広めませんか?」
gucchi@y.email.ne.jp
http://homepage1.nifty.com/pvi/



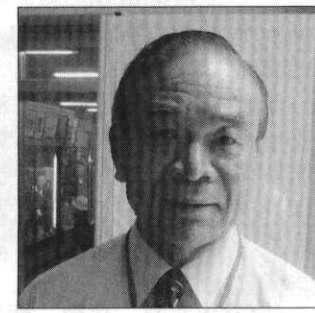
横田 能洋さん(水海道市)
= NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ事務局長
「夏から、県南を中心にNPOの出前相談に出かけていきますので、声をかけてください」
yyokota@mub.biglobe.ne.jp
☎ 090-8854-0831



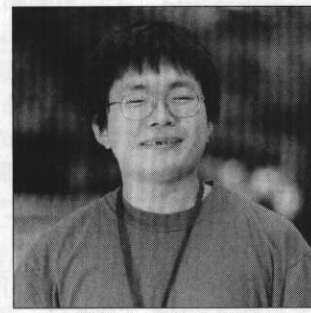
高橋 紀子さん(神栖町)
= NPO法人N&N Corporation代表理事
「通訳・翻訳活動を通して地域で国際交流・協力を一緒に!!通訳ガイド養成講座の生徒および講師募集中です」
☎ 0299-96-0222
nandn@sopia.or.jp



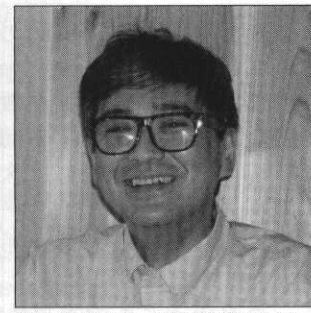
糸井 雅彦さん(水戸市)
= NPO法人FACTORY BEE代表理事
「親と子供達の為に『携帯電話に潜む罠』や『思春期の心と身体』等、各小中学校PTAに向けて講演いたします」
☎ 029-254-3239
factory-bee@ezweb.ne.jp



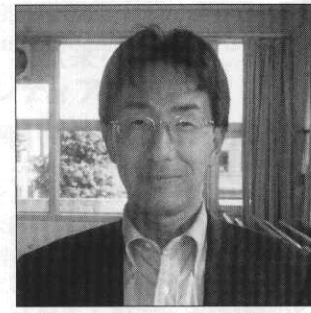
和田 剛一さん(鹿嶋市)
= NPO法人「ニューライフシマ21」代表理事
「『出会いと感動をクリエイト』。出会いは人を育て、感動は人を変える。子育て支援と生涯学習の出会いの場を演出」
☎ 0299-82-0793



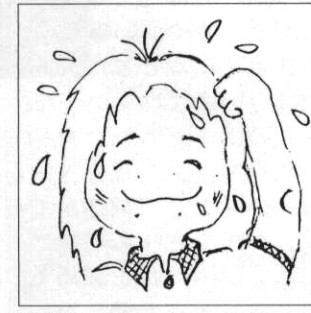
一色 茂雄さん(龍ヶ崎市)
= NPO法人ユアアンドアイ
「今年より事務局長をやっています。なにぶん初めての経験で、戸惑いながらですが、何とかやっています」
☎ 0297-62-2667
yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp
http://www.npo-ibaraki.or.jp



細内信孝さん(東京都稲城市)
= コミュニティ・ビジネス・ネットワーク理事長(CB伝導師)
「茨城はNPO、コミュニティ・ビジネスに想いを抱く、多くの草莽の民が活躍しています。よく訪れる地域の一つです」
http://www.hosouchi.com



小泉 夫夫さん(ひたちなか市)
= 那珂湊商工会議所商工指導課
「ナイトバザールも70回になりました。これからもヨコのネットワークをひろげてがんばりたいと思います」
riki@inetcci.or.jp
http://www.inetcci.or.jp



萩野谷 オ子さん(水戸市)
= 「ミラーベの会」主宰
「涙は心の汗だと言えけれど、私メの場合、映画は心の汗なのです。感性、価値観 etc. 汗かいてスローライフ」
☎ 029-232-3217

「ミニレストラン」
営業時間(平日・御予約可)
◆新鮮食材による三種のランチ
午前十一時半から午後二時まで
◆女性一人でも楽しめるディナー
午後六時から午後九時まで
各種パーティ
会費
御弁当(五百円から)も承ります
☎ 029-1111-6544
http://www.npo-commons.org/try.htm



とらいだより……………①
ひと手間かけて
とらいの料理は、家庭で出されている和食が中心です。ちょっと手間のかかる鶏つくねや、昆布、鰹節のだしでつくるときの煮物などは「とらい」らしいと人気があります。
野菜の種類を多くし、パランスのよい内容になるよう定食スタイルにしました。日替わりランチは、コーヒー付きで全八品になります。
大きめの手づくりテーブル、木の香りいっぱいの空間でゆったりと、お食事をお楽しみください。
店主

“茨城NPO人名録” 第1弾!

《ご注意》今特集は、NPO活動や理念に関心がある方々を紙上で紹介することで、皆様が活動するうえでのネットワークの拡大につなげてもらうのが趣旨です。ご連絡の際には、お相手のご迷惑にならないような配慮を、お忘れなきようお願いいたします。



大津 良夫さん(水戸市)
=財団法人水戸芸術振興財団事務局長
「市民が生き生きとした社会を目指して同じ五軒町で活動しているcommonsと水戸芸術館をどうぞよろしく!」
☎ 029-227-8111



平塚 知真子さん(つくば市)
= NPO法人ままとーん理事長
「4月からままとーん代表と日本子どもNPOセンター事務局の二足草鞋。子育て支援最前線で働くメリットを活かし、地元にも協力したいです」
hiratuka@kodomonpo.org



朝川 君代さん(水戸市)
= NPO法人茨城NPOセンター・commons副代表、コミュニティレストランとらい運営
「ひたむきな人です」
☎ 029-233-6544
http://www.npocommons.org/try.htm



宇津木 法男さん(東京都)
= NPO事業サポートセンター専務理事
「市民活動のリーダーとして、これからも全国各地の仲間たちとネットワークを広げる活動を進めましょう」
http://www.npo-support.jp/



本田 秀樹さん(ひたちなか市)
= NPO法人グリーンビュー代表理事
「心のケアに重点を置いた高齢者支援事業等を通じ地域の人々との交流と共生の文化の創出を目的に活動しています」
☎ 029-263-5018



佐々木 恵美子さん(水戸市)
= こどもとおとなの学校「恵藍舎」代表
「自分が好き。まわりの人たちが好き。自然が好き…。子どもも大人もみんなそうだったらいい」
☎ 029-246-9689



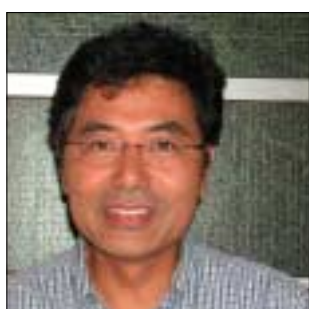
加持 勇介さん(水戸市)
= 毎日新聞水戸支局記者
「新たなネットワークや斬新な発想に情報は重要。きっかけとなる情報を提供すべく、日々飛び回っています」
☎ 090-7179-7449



矢野 正広さん(宇都宮市)
= 栃木ボランティアネットワーク事務局長
「栃木の“同業者”です。最近の子ども、若者の危うさを何とかしなければ、と子を持つ親としては必死です。この応援が大切かも、としきりに考えてます」



井上 安博さん(水戸市)
= ライフサポート水戸
「障害をもっていても自分が自分の人生の主役であるために、どんな重度の障害者でも自己決定権が尊重され決定への責任を負える。これを社会に広めることが、私たちの使命です」



相原 正夫さん(常陸太田市)
= まいずる塾
「常陸太田市も来年広域合併し、新しい市になります。それまでにNPO法人を、市内で立ち上げたいと思っています」
maihara@sea.plala.or.jp
http://www9.plala.or.jp/maiduru/



今井 理恵さん(水戸市)
= Happy☆Project
「ボランティア系学生グループ。メンバーは高校生、大学生。水戸市緑町の県青少年会館アイルームにいます」



田尻 恵美子さん(日立市)
= NPO法人 ひたちNPOセンター・with you 事務局長
「今後は広報誌の発行、NPO紹介冊子等、情報に力を入れてゆきたい。ホームページまで立ち上がるかな?」
☎ 0294-37-1060



稲葉 淑江さん(下館市)
= NPO法人NPOプラザねこねっと代表理事
「組織化して6年目。積み重ねを形にして行くには、まだ力不足。共に汗を流す仲間になっていただけませんか」
npo.neco@myad.jp ☎ 0296-24-2100



大川 新人さん
= NPO経営プランナー
「職業訓練講座の受講者のみなさんは、熱心なのでやりがいがありました。受講者のますますのご発展をお祈りしています」
aokawa@ninus.ocn.ne.jp



神山 直規さん(龍ヶ崎市)
= commons、アサザ基金、富士山クラブ
「昨年より、学校プールのヤゴ救出とトンボの繁殖をしています。昔のようにたくさんのトンボが舞い飛ぶことを目指します」
kamiyama@tkcnf.or.jp



佐竹 明さん(水戸市)
= オリオン編集事務所主宰
「ダンスが好きだ。舞踊がメインの芸術NPOあるいはメディアをやるので、関心ある方、一緒に」
aquarius@jk9.so-net.ne.jp



水野 雅子さん(阿見町)
= NPO法人子どもの研究所
「昨年8月迄、事務局スタッフとしてお世話になりました。10月に結婚し、現在は上記の団体に頑張っています」
☎ 029-842-3638



藤澤 利枝さん(水戸市)
= 社会福祉法人ユーアイ村事務局長
「以前住んでいたドイツでは夏のバカンス3週間は当たり前。今年の夏休みも3日間。いつか日本を変えてやる!」
☎ 029-255-3777



竹中 紀博さん(土浦市)
= 職業訓練課程・NPO起業科修了生
「職業訓練課程NPO起業科第1期修了生です。厳しく楽しい授業のおかげで、町民活動センターに就職できました」
☎ 029-821-2193



菅野 ひろみさん(水戸市)
= 茨城NPOセンター・commons
「4月からcommons事務局で“らいおん”と共に働き始めました。みなさま、よろしくお願ひします」
☎ 029-300-4321

情報掲示板 (今月から来月にかけての催しや人材募集などを掲載しています)

◆◆イベント案内◆◆

■第2回なかよし広場「森へ行こう」参加者募集

障害をもつ子どももたない子ども、みんなでかけ回ってみませんか。森を探検したり、草花や虫をとってみよう！みんな、おいでー！（当日のお手伝いをしてくださる方も同時募集中です）
日時 8月21日（木）午前9時40分～11時30分頃
場所 水戸市森林公園
参加費 1家族500円
持ち物 帽子、水筒、汗ふきタオル、敷き物、その他虫あみ、虫かごなど

※雨天決行（どしゃ降りの場合は、しゃぼん玉や木を使った工作など屋内での遊びを予定（可能な方は一緒にお昼を食べてみましょう。お弁当をご持参ください）
申し込み締切 8月15日（金）
問い合わせ 水戸共に育つ会 田賀さん ☎090-3483-4778（午後6時以降可、それ以外は留守電、折り返し連絡）
FAX 020-4623-3756 E-mail chihhi@msg.biglobe.ne.jp

■第2回パートナーシップ大賞候補事業募集

NPOと企業の協働によって実施され、社会に多様なインパクトを与えた特色のある事業に贈る「パートナーシップ大賞」の候補事業を募集します。対象活動・事業 国内所在のNPO（法人格の有無不問）と企業との協働事業

応募締切 8月25日（月）
問い合わせ NPO法人パートナーシップ・サポートセンター（PSC）「パートナーシップ大賞募集係」岸田さん・澤さん ☎052-762-0401 FAX 052-7620407 URL http://www.psc.or.jp E-mail pscnpo1998@yahoo.co.jp

■ちょっと・ティータム「NPOって何？」参加者募集

知ってるようでよく分からないのが「NPO」。NGOとNPOはどう違うの？今さら聞けない質問もこの日なら大丈夫！ゲストのレクチャーとチャット（軽いおしゃべり）の2時間です。お子様連れでもお気軽にどうぞ。
日時 8月28日（木）午後2時半～4時半
場所 コミュニティレストランとらい（茨城NPOセンター・commons事務所隣、芸術館より徒歩5分）
ゲスト 横田能洋
参加費 600円（飲み物、ケーキ付）
定員 15人
問い合わせ 茨城NPOセンター・commonsかめ&うさぎ部・菅野 ☎029-300-4321 FAX 029-300-4320

■映画「ランドセルゆれて」上映会観覧者募集

大阪の学童保育「さつき学童クラブ」で大きな事件が…。子どもたちと家族、そして指導員たちの物語です。「子育てを個育てにしないために」是非ご覧下さい。
日時 9月12日（金）午後7時～8時40分

時40分
9月13日（土）午後2時半～と午後7時～の2回
場所 ひたちなか市文化会館小ホール
料金 前売券大人（高校生以上）千円（当日千200円）子ども（6歳～中学生）800円（当日千円）
取り扱い ひたちなか市文化会館 ☎029-275-1122、おやこ劇場ゆめひろば ☎029-273-2208
問い合わせ 「ランドセルゆれて」上映委員会 ☎029-275-1376

■「心理カウンセラーをめざす」1日研修会 参加者募集

「心理カウンセラーに私でもなれるのかな」と思っていたり、「なりたいな」「仕事に生かせたら…」と考えている人向けの講座。県内では初の開催です。
日時 9月20日（土）午前9時50分～午後7時50分
場所 ろうきん会館 ラ・ウェル牛久（牛久駅より徒歩10分）
講師 富田富士也（子ども家庭教育フォーラム代表・千葉明德短大幼児教育科客員教授）
定員 20人
参加費 1万8千円
問い合わせ いばらきハートネット「心理カウンセラーをめざす」実行委員会・木下元江さん ☎/FAX 029-876-4833

■オーガニックマーケット開催

無農薬、有機農法によるおいしい野菜に出合える『第1回オーガニックファーマーズマーケット』。地域通貨（リング）が使えます。
日時 8月3日（日）正午ごろ～夕方 ※今後は毎月1回第2日曜開催
場所 水戸市南町2丁目の「うさぎの小径」
問い合わせ NPO法人「和嬉（やわらぎ）」 ☎080-5011-8853

■連続講座「芸術NPOの可能性を探る」参加者募集

NPO関係者や専門家を講師に迎え、芸術NPOの現状や課題を把握すると同時に、これからの芸術文化振興のためにNPOが果たす役割や可能性を探ります。
①芸術の創造活動とNPO②文化施設の運営とNPO③市民社会への芸術サービスとNPO④芸術コミュニティへのサービス機能とNPO⑤芸術NPOの将来像⑥芸術NPOの社会的役割と位置付けの全6回講座。
日時 8月6日（水）、20日（同）、9月3日（同）、17日（同）、10月1日（同）、20日（月）の午後4時から2時間
場所 千代田区。日本生命日比谷ビル7階国際ホール
参加費 一回1500円。全5000円。
問い合わせ NPO法人アートネットワークジャパン E-mail lecture@anj.or.jp

■通訳ガイド養成講座講師 ◆◆スタッフ募集◆◆

通訳ガイド養成講座講師（英検2級以上）で、日本史・地理・世界史・国際関係について指導して下さる有給スタッフを募集しています。
募集期間 10月～平成16年3月
場所 神栖町内

NPO 一日体験 レポート

このコーナーは、モニターのみなさんに、県内のNPOを一日体験していただいたレポートを掲載しています。読者の中で、体験を希望される方は、コメントまでご一報ください。



事務局で西村ミチ江さん（左）に話を聞くモニターの花見幸作さん（右）、同・成田孝さん（中央）の

「塙山学区住みよいまちをつくる会」 日立市金沢町2の11の5 ☎0294-34-5404

日常活動型で元気なまちを

日立市の「塙山学区住みよいまちをつくる会」の市民活動は、23年を経過し、現在は3代目会長の西村ミチ江さんを中心に約250人のリーダーの参画による日常活動型の市民活動を展開しています。

活動は塙山小学校区をエリアに、約2千500世帯約7千500人を対象に、塙山コミュニティセンターに事務局を置き、活発に行われています。

7月8日に、七夕飾りに囲まれた事務局を訪問。本会への思い、活動状況および将来への展望について西村さんに語っていただきました。本会の思いが住民、行政にも理解され、うまく機能している主な点は次の通りです。

365日型活動

自分たちの町は自分の手で良くするんだ、という基本的な考えを基に住民の声を即、日常の市民活動に反映させ、将来につながる事業については「未来局」などで検討し、アンケートによる住民ニーズを反映したコミュニティプランを作成、365日型活動の中で運営しています。

学区内12地区の自治会および市との調整は事務局で行っています。自治会で実施すること、行政で実施す

ることを提案しています。

情報重視と健康づくりプラン

「住みよいまちかわら版」は活動開始以来一度も休むことなく毎月発行しています。号外も発行し、また32カ所の特設掲示板に、行事ごとのポスターを掲示するなどして可能な限り広報活動を展開、情報重視による住民の理解と参加に努めています。

1999年に健康実践地区に行政から指定されたのを機に、塙山の実情に合った健康プランを、年代別に、具体的目標を設定しています。「日本一元気な塙山」を目指し、活動しています。

塙山学区は3つの小学校区の一部が集まってできた学区ですが、約250人のリーダーの参画の下、「小さな市役所」を組織しています。住民の意向を日常活動に反映、行政の力を借りて、素晴らしいまちづくりを実現しています。

今後の課題は、子どもたちの自主性と社会性をテーマにした青少年育成活動が必要であることと、一部の機能をNPO化する事も視野に入れ、それらを次世代にいかにつなげていくか、とのことです。（文 NPO起業科修了生の花見幸作さん）

日時 毎週（土）午後7時半～9時
問い合わせ NPO法人N&N Corporation 高橋紀子さん ☎/FAX 0299-96-0222 E-mail nandn@sopia.or.jp

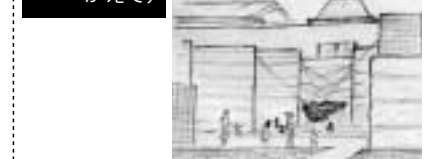
◆◆ボランティア募集◆◆

■「情報紙11号」発送作業のお手伝い募集

NPO情報をより多くの方々にお知らせしている本紙の第11号を県内のNPO法人、自治体、茨城NPOセンター・commonsの会員及び協力者に発送する作業です。お茶とお菓子を用意してお待ちしています！お子様連れの方や短時間の参加でも歓迎です。

日時 9月11日（木）午後2時半～午後5時ごろ
場所 コミュニティレストランとらい（commonsの隣り）
問い合わせ 茨城NPOセンター・commons ☎029-300-4321

五軒町だより 広場



（事務日誌にかえて）

昼下がりの水戸芸術館広場。今の季節、ふわふわの芝生とその向こうの噴水が、目に耳に、とても気持ちよく感じられます。

ちゅちゅ水遊びをする元気な子どもたち、傍で楽しそうにおしゃべりするお母さんたち、革靴を脱ぎ木陰でお昼寝のサラリーマン、談笑しながら散歩する日傘の女性たち、学校帰りの女子高生、忙しそうに走っているのは…芸術館の職員さん。いろいろな人が立ち寄り、集まる。そしてみんな心地よかったり、楽しかったり。それはなんだかすごいこと。
広場……。ふと大事なことを思い出させてくれる、素敵なお場所です。

（文と絵 草間多佳子）

本紙常備施設・お店

- 水戸芸術館（水戸市五軒町 ☎029-227-8111） 水戸カトリック教会（水戸市五軒町 ☎029-221-3976） ギャラリー「街かど美術館」（大子町大子 ☎02957-2-0708） 自然食レストラン「パンプキン」（北茨城市磯原 ☎0293-42-1818） 常陸太田市生涯学習センター（同市中城 ☎0294-72-8888） カフェ「ピアノッシモ」（水戸市河和田 ☎029-255-3777） 自然食品「イーハトーブの森」（水戸市石川 ☎029-254-3752） こどもとおとなの学校「恵藍舎」（水戸市元吉田 ☎029-246-9689） 県水戸生涯学習センター（水戸市愛宕 ☎029-228-1313） 交流サルーンいばらき（水戸市三の丸三の丸庁舎 ☎029-302-2160） 水戸市国際交流協会（同市備前町 ☎029-221-1800） 水戸市福祉ボランティア会館（同市赤塚 ☎029-309-4141） まちの駅みと（水戸市南町東京電力茨城支店内 ☎029-302-3100） 菜食カフェレストラン「Ritz'n（りっつん）」（つくば市上原 ☎029-856-0009） つくば市民活動センター（同市吾妻 ☎029-855-1171） 鹿嶋市立中央図書館（同市宮中 ☎0299-83-2510） 龍ヶ崎市市民活動センター（同市 ☎0297-63-0030） 守谷市民活動支援センター（同市野木 ☎0297-46-3370） 下館市立図書館（同市下岡崎 ☎0296-24-3530） 県西生涯学習センター（下館市野殿 ☎0296-24-1151） 県南生涯学習センター（土浦市大和町 ☎029-826-1101） 県立図書館（水戸市三の丸 ☎029-221-5569） 水戸市立中央図書館（水戸市大町 ☎029-226-3951） ※置いていただけのお店・市民活動拠点をご紹介します。